

1	審議会名	第3回 塩田地域協議会
2	日時	平成22年5月25日 午後3時から午後5時30分まで
3	会場	上田市塩田公民館小ホール
4	出席者	伊藤委員、大口委員、岡村委員、甲田委員、小林委員、清水委員、関田委員、竹下委員、玉木委員、中村委員、南雲委員、西沢委員、丸山委員、峯村委員、宮沢委員、山極委員、若林委員
5	市側出席者	神林塩田地域自治センター長、志摩センター長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	3人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成22年6月3日

協議事項等

1 開 会 (神林自治センター長)

2 大澤前政策企画局長あいさつ
職員の人事異動に伴う退任あいさつ

3 会長あいさつ

本日の会議は、地元の市議会議員さんも出席されており、緊張感を持った会議としたい。塩田地域を
発展させ、そのうえ上田市の発展に結び付けていきたいので、活発な意見交換をお願いしたい。

4 協議事項

(1) 別所線電車存続について (アンケート委員長説明)

別所線電車存続については、行政からの公的支援は昨年度で終了したが、利用者数が伸び悩んで
いる状況である。行政も期成同盟会も、「乗って残す」を合言葉に存続運動を展開してきた。平成
21年11月18日には、「上田電鉄別所線電車存続について」意見書を提出してきた。平成22年1
月15日には、「別所線電車存続に関する住民アンケート」を実施してきた。

(会長補足説明) 過去6年間の公的支援の合計は、約5.4億円で平成16年には、約7.3万人の存
続を求める署名が集まった。存続について地域住民の考え方は、支援や協力体制が必要と考えてい
る。市長は、地域の考え方がしっかりしていれば、補助金を出すことはやぶさかではないとって
いた。

(質疑応答)

(委員) 個人的に「乗って残す」ことに理解できない。利用者の増加については、人口問題があり
人口が増加しないと難しいと思うので、高等学校(指定校)を誘致してはどうか。塩田から
上田へ行くのではなく、上田から塩田へ来てもらってはどうか。そこまでしないと残
せない状況である(私立中学の考えも必要である)。

(委員) 別所線電車存続運動としては、「乗って残す」を合言葉に運動を展開してきたと思う。ド
ア・トゥ・ドアを考えれば、車のほうが便利で安いと思う。上田女子短大や長野大学などの
学生の利用が多いので、学生の視点も必要である。

(委員) 住民も関心を持っていると思うので、アンケート結果報告書の発表会等の考えあるのか。
報告書の%表示は、()書きのほうが見やすいし、回答内容が重複しないように訂正したほ
うが良い。

(議長) さくら国際高等学校が開校して、電車の利用者が増えてきていることもあり会社、行政及
び地域へ働きかけたいと考えている。

(委員) 別所線電車存続支援については、多くの団体が関わっており期成同盟会長が1年で交代す
るが任期が短すぎる。十分な活動をするためには、任期を複数年としてもらいたい。

(議長) 任期の延長は厳しいので、早めに行動を起こすようにしてもらいたい。

(委員) 先日役員会があったが、今年の活動を実績として残していきたい。当て職が多すぎて消化しきれないので、再考をお願いしたい。役職柄、多団体との関係の中で関わっている例が多い。地区自治会連合会会費計約 24 万円、市補助予算約 120 万円などがあり、自主活動をすべきところ市の補助が多く考えものである。地区自治会連合会会費は、塩田地域は各地区連 20,000 円であるのに対して、塩田地域以外は各 6,000 円であり矛盾があると思う。期成同盟会自体が、市補助金で活動するのがいかなものか考えてみたい。

(委員) 6月3日の期成同盟会の総会において、アンケート結果の報告を提示してはどうか。

(委員) アンケートで関心の高いのは、負担金の拠出についてであった。別所線電車存続対策の中に、拠出金の項目が入っていたが影が薄かったので、別途拠出金のみアンケートが必要である。仮に一戸 1,000 円の拠出でも塩田地域全体で約 700 万円となる。

(委員) 昨年度長野大学に、環境ツーリズム学科ができて関係する調査があった。調査に基づくイメージ図ができており、すぐに取り入れられるものもあったので実現できればいいと思う。相乗効果で地域が潤ってくれば、負担金拠出の気運も高まると思う。

(委員) 上手地区では、子どもを育てたいと思う人は減っている。塩田西小学校は、1クラスがやっとの状況であり、塩田地域から人が減っているが、地域の活性化のためには残すべきである。

(委員) 利用者減と聞いているが、理由は何か。市外の人に乗ってもらうようにすることも重要である。

(議長) 年ごとの行事として昨年は善光寺の御開帳、本年は御柱祭であるが利用者減の理由ははっきりしておらず、高校生の利用が減ってきていると聞いている。

(委員) 自分は、通勤に別所線電車を利用したし子どもも通学に利用した。中野は、世帯数が増加してきており、人口増には電車は必要である。老後の自分や孫が乗るかもしれないので、存続に対する負担は必要と思う。負担金の一部が、還元(バック)できるような仕組みが良いと思う。

(議長) 別所線電車存続について、昨年 12 月市議会において安藤市議会議員が一般質問をしており、市の答弁をお聴きしたい。

(安藤市議) 別所線電車は、地域交通や観光において重要な手段と考えていた。しかし、再度支援するとは言っていなかった。住民の意見や取組みについて様子を見てみたい、また会社側の考え方についても注視したいとしていた。

(委員) 負担金のほか、さくら国際高等学校生の駅までの移動手段の確保が必要である。

(委員) 下之郷駅には、東塩田林間工業団地内の企業が、電車通勤する従業員を送迎するための車が来ている。駅から旅館までの、送迎車の利用についても考えてもらいたい。

(委員) 別所温泉では、電車に乗るためのツーリズムが増えている。下之郷までバスで来てもらい、下之郷から別所温泉までは電車を利用してもらっている。別所線各駅での乗客数の推移と、上田駅から別所温泉駅までの乗客数を知りたい。

(委員) 報告書を精査して若干修正したい。アンケート結果を関係機関へ提出してよいものか。

(委員) 住民への報告は必要であり、協議会だよりで報告すればよい。

(委員) 別所線電車は、上田女子短大や長野大学などの学生の利用が多いので、塩田地域のことでなく市全体の問題であることを議会としても考えてもらいたい。

(委員) 期成同盟会の構成員に、地域協議会を含めてもらうべきであり、支援者会議にも加わるべきである。

(決定事項)

別所電車存続に関する住民アンケート調査結果については、住民へ結果を報告する。

(2) 専門委員会について(委員会報告)

(ため池活用委員会)

(委員長) ため池の活用について協議した内容について報告

実態調査を兼ねたため池マップづくり、ため池の活用について活用案を自治会等へ提案、

ため池の歴史看板の設置、ため池の美化活動、ため池と子どもたちの関わりについて検討、遊歩道やウォーキングロードの（案内板）整備、植生調査などについて協議した。

（地域振興委員会）

（委員長） 地域振興について協議した内容について報告

塩田の観光を基に地域振興を図るため、地域の特性や観光資源の確認と発掘を目的に地域を視察する。（協議会として）

（地域交通委員会）

（委員長） 地域交通については、今後協議する予定である。

（広報委員会）

（委員長） 広報活動について協議した内容について報告

協議会だよりを年2回発行する。当面9月には、別所線電車存続に関する住民アンケート結果報告の発行を予定している。

（質疑応答）

（委員） 協議会だよりは、全戸配布を希望する。

（委員） 委員会活動に期間は1年となるのか。

（議長） とりあえず1年としたい。

（委員） 1年で計画をまとめて、次年度に行動するということが。

（議長） そのように考えている。

（委員） 議事の進め方についてはっきりしてもらいたい。専門委員会をつくることはいつ決めたのか。どこから出てきたものか。専門委員会と協議会全体会との関係は何か。

（議長） 専門委員会をつくることは、正副会長会で決めたものである。専門委員会で協議してもらったものを全体会で確認することとしたい。

（委員） 筋を通して行うべきで、全体で意思統一して進めるべきである。ため池の活用は、ため池の維持管理とは関係なく共通理解していくべきだ（他人の金を黙って使うようなもの）。ため池については全体会に諮るべきである。

（議長） 独断的に進めることはあり得ない。

（委員） 専門委員会については、前回の協議会に諮ったことで、各委員会で協議した内容について発表してもらったものである。

（委員） 協議会においては、専門委員会が主ではなく附属のものであり、協議会の活動の幅を広げるためのものである。

（決定事項）

協議会だよりについては、まちづくり協働課と協議をする中で、広く住民に広報できる方法について検討したい。

(3) その他

ア 傍聴者（市議会議員）意見

（議長） 地域予算については、7月の協議会においてまちづくり協働課から説明してもらい、本年中に意見書としてまとめたいと思っている。

（半田市議） 自分は、別所温泉駅で花壇の手入れをしてきたほか、下之郷駅での活動にも関わってきた。塩田地域にとって別所線電車は、地域の文化であり住民の大切な交通手段であるので、存続について協力していきたい。

（池田市議） 中塩田振興会の総会でもあいさつしたが、別所線電車の存続は重要な課題であり、地域の声なき声を吸い上げるのが協議会の役割だと思うので、地域での活動に協力してまいりたい。

イ 塩田地域協議会申し合わせ事項について（事務局説明）

慶弔規定を盛り込んだ申し合わせ事項について説明して協議は次回とした。

5 その他
特になし

6 閉会

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。